

2016年も高尾山でアカショウビンを観察

粕谷和夫

2015年に5月末から7月上旬の間、高尾山とその周辺でアカショウビンが観察された(会報かわせみ第55号2015年)。1ヶ月以上の間、観察されたのは1980年以来35年振りであった。

2016年も高尾山で約1ヶ月アカショウビンが観察された。観察された月日と場所は右表の通りで、5月23日から6月20日までの約1カ月間である。場所は高尾山のほぼ北側であった。2015年は日影沢や八王子市西部でも観察されたのに比べ、2016年に観察された範囲は狭かった。右表は全て八王子・日野カワセミ会の鳥信からの引用で、高尾山頂にあるビジターセンターから聞いた情報は含まれていない。観察内容は全て「声を聞いた」もので、姿の確認はしていない。

アカショウビンの声を聞いた場所

年/月/日	声を聞いた場所
2016/5/23	小仏川・上栲田橋上流側
2016/5/23	高尾山6号路(琵琶滝付近)
2016/5/25	小仏川・上栲田橋上流側
2016/5/25	高尾山・6号路に向かう道
2016/5/28	高尾山リフト上りの右側
2016/6/9	高尾山ケーブルカー山上駅
2016/6/9	高尾山・1号路の入口付近
2016/6/10	小仏川・上栲田橋上流側
2016/6/12	高尾山山頂
2016/6/20	高尾山口駅付近

研究部例会

野鳥の調査に参加しませんか…あなたのスキルを活かしましょう ～調査活動の実態を紹介します～

日時：2016年10月23日(日)

午後1時30分～3時30分

会場：渋谷区立神宮前穂田区民会館・集会場

〈東京メトロ・明治神宮前駅下車・7番出口から1分〉

参加費：無料・事前申し込み不要

東京各地で野鳥の調査が行われています。当会の研究部関係だけでも、いくつものプロジェクトが動いています。最新のものは「ミヤコドリ」の生態調査。三番瀬には300羽以上が越冬していますが、その繁殖地はわかっていません。また、何を食べているのかも正確には判明していません〔写真〕。1月には23区内で越冬する「オオタカ・ノスリ」の数をかぞえています。越冬期のオオタカの実態はまだ不明のことばかりです。そのほか干潟のシギ・チドリのカウント調査、各地でのセンサス調査、そして全国規模の繁殖分布調査など、たくさんの調査が進行中です。

その一つひとつに、「野鳥の野外識別能力」を持った人を必要としています。日ごろの探鳥で培った能力(スキル)をぜひ生かしてください。今回は、いろいろな調査活動の実態を紹介します。

〈詳しくはインターネットで、日本野鳥の会東京・研究部HPにアクセスを〉

